

小倉東篠崎教会 Church College

宮下 規久朗が語る、見せる！！

『西洋美術を味わうために
—キリスト教美術の旅』

2022年 1月22日(土)

午後 2:00~4:00

無料

「聖母マリアと美術
—信仰を育んだイメージ」

ヤスナ・グラの聖母(黒い聖母) 14世紀

〔講演概要〕

聖母マリアは世界中で親しまれています。それはキリスト教にかぎらず、西洋のあらゆる文化に浸透し、美術史を牽引してきました。聖母は「受胎告知」「ピエタ」「無原罪の御宿り」といった様々な主題を生み、美術の中心的なテーマであり続けました。この講演では、聖母像の起源であるイコンや「黒い聖母」から、ルネサンス、バロック、日本の南蛮美術、現代美術に至るまで、聖母マリアの美術史を幅広く概観し、信仰と美術について考えます。

講師プロフィール…



宮下規久朗・みやした・きくろう
美術史家・神戸大学大学院人文学研究科教授。1963年名古屋市生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業、同大学院修了。『カラヴァッジョ—聖性とヴィジョン』(名古屋大学出版会)でサントリー学芸賞など受賞。その他の著書に『食べる西洋美術史』『ウォーホルの芸術』『美術の力』(光文社新書)、『カラヴァッジョへの旅』(角川選書)、『刺青とヌードの美術史』(NHKブックス)、『モチーフで読む美術史』『しぐさで読む美術史』(ちくま文庫)、『闇の美術史』『聖と俗—分断と梯の美術史』(岩波書店)、『そのとき、西洋では』(小学館)など多数。最新刊に『聖母の美術全史』(ちくま新書)。日本基督教会西宮中央教会員。

■ CHHURCH COLLEGE とは…

わたしたちを取り巻く文化や概念、言語や枠組み、何よりも「いのち」の根幹にあるものを知ることこそ、現代の様々な課題解決への道、わたしたちに生きる意味と方向を指し示してくれることでしょう。この CHURCH COLLEGE は、キリスト教とその文化を背景にもつ知見をもって、その根幹に迫ろうとするものです。ワクワク、ドキドキの楽しいお話です。どなたでもご自由にお越しください。

■ コロナウィルス対策とお願い

※コロナの影響によって中止/延期する場合がございます。開催状況をホームページや電話でご確認の上、お越しください。
※マスクを着用し、換気のため衣服着脱等で体温調整するようお願いいたします。

日本キリスト教団 小倉東篠崎教会

北九州市小倉北区東篠崎 1-2-13 (片野駅より徒歩2分)

TEL・FAX 093-951-7199 / HP <https://higashishinozaki-ch.jp/>



